

平成19年度

事業報告書

財団法人 車両情報センター

事業報告書目次

概要	1
1．事業運営方針の策定等	2
2．車両情報システムの再構築	2
(1) 第2フェーズの開発	2
(2) KEIRIN.JPの機能改善に関する開発	3
3．システムの研究開発	3
(1) 制度改正対応開発等	3
(2) 電話投票関連開発	3
(3) 次世代車両情報システムに関する研究	4
4．システムの運用管理	4
(1) 新稼働システムの運用管理	4
(2) 競技関連業務	5
(3) 投票関連業務	5
(4) 情報提供業務	5
(5) ナイター競輪開催対応	6
(6) システム監視業務	6
(7) システム運用におけるバックアップ業務	6
(8) システムの運用・保守・管理	7
(9) 新規場外開設時等のサポート	7
(10) 主な障害と対応	7

5 . システム運用の安全確保対策	8
(1) 講習会の実施	8
(2) 運用監視システムの整備	8
(3) セキュリティ対策	9
6 . 財団の運営管理	9
(1) 職員数の推移	9
(2) 規程の制定・改廃	9
(3) 評価委員会の開催	9
(4) 職員の研修	9

概要

本財団は、車両競技に関する情報システムを担当する機関として、競輪関係団体との協調のもとに、業績の向上及び車両情報システムの経済性、安全性及び拡張性の確保を目指して同システムの開発及び運用事業を実施し、競輪の円滑な開催運営に寄与することに努めた。

システムの開発については、拡張性の確保に重点をおいて車両情報システム(V I S)再構築第2フェーズの開発を継続して行い、平成19年10月に新システムに移行した。また、平成18年6月にサービスを開始した競輪オフィシャルサイト「KEIRIN.JP」について、主にお客様からの要望に応え、システム改修を実施した。

さらに、競輪の諸制度改正に対応する開発を行うとともに、電話投票(インターネット投票を含む。)の前日発売機能を開発し、平成20年3月からサービスを開始した。

システムの運用管理については、競技関連業務、投票関連業務、競技関連情報の提供等を円滑に実施するため、V I Sの信頼性及び安全性に留意し運用管理を行った。また、同システムを安定して稼働させるために保守管理等を行った。

なお、一部事業の実施にあたっては、(財)日本自転車振興会の自転車等機械工業振興資金による「競輪の補助金」を受けて車両情報システムの研究開発等を行った。

1．事業運営方針の策定等

運営委員会及び理事会を開催し、本財団の事業運営の重要事項について審議・決定するとともに、競輪を巡る諸情勢に適切に対応する事業運営を行った。また、車両情報システムの開発及び運用の事業を円滑に実施するため、必要に応じて関係団体で構成する会議を開催した。なお、運営委員については、事業運営の強化を図るため、平成19年4月1日付けで2名増員した。また、財団の事業運営に係る重要事項については、監督官庁等に届出等を行った。

〔資料1～3〕

2．車両情報システムの再構築

(1) 第2フェーズの開発

車両情報システム(VIS)再構築は、経済性、安全性及び拡張性を基本理念として実施したが、第2フェーズにおいては、拡張性に重点をおいて以下のシステム開発を実施し、平成19年10月10日に新システムに移行した。

ア 開催管理システム

番組、審判、統制、賞典業務について、システム構成を見直すとともに関係団体からの要望に対応した開発を行った。また、あっせん通知については、平成19年10月25日から葉書に代えて電子メールに変更した。

イ 競輪情報検索システム(KISS)

車券売上、競走成績等の各種情報について、定型帳票に加えて、関係団体の利用者が自由に帳票作成ができるようなシステム開発を行った。また、出力方法についても、特定端末での紙媒体に加え、出力端末を拡大するとともに画面表示及び電子媒体出力(電子媒体情報は利用者が容易に独自加工が可能)とするシステム開発を行い、合わせてKISSとして稼働させた。

ウ データベースシステム

開発期間の短縮、開発経費の削減、開発作業の安全性向上及び性能の向上を目的としてデータベースを再編成し、最適なものとした。

(2) KEIRIN.JP の機能改善に関する開発

平成 18 年 6 月のサービス開始以降寄せられていた、主にお客様からの要望に応えるため、KEIRIN.JP のシステム改修を実施した。

平成 19 年 12 月 13 日に「出走表の S 回数（スタート時に先頭員の後位を取った回数）・H 回数（最終回ホームを先頭で通過した回数）の表示」等の機能を提供し、平成 20 年 3 月 10 日に「決目打ち投票（同一組重複数投票）」機能や、「ID・パスワードを忘れた場合の確認」機能等を提供した。

3. システムの研究開発

車両情報システム（VIS）の再構築に関する開発のほか、効率化及び情報サービスの一層の向上に資するために、競輪関係団体との連携・協議のもとに以下のシステム研究開発を実施した。

(1) 制度改正対応開発等

競輪関係団体の決定に伴い、以下の対応を実施した。

ア S 級 S 班に対応する帳票及び表示のためのシステム改修（一部帳票・表示についてトータリゼータメーカーと連携して暫定的に対応した。）

イ F・F 12 レース制導入に伴う新概定番組の登録

ウ 特別昇班（A 級 3 班から A 級 2 班）に関する暫定対応の実施

(2) 電話投票関連開発

ア 加入者管理システムの開発

サイクルテレホン事務センター（CTC）業務の（社）全国競輪施行者協議会への移管時期に合わせて、電話投票加入者情報を管理するシステムの操作性・効率性を高めるための開発を行った。

イ GP07 電話投票対応

最近の利用状況を踏まえ、インターネット投票において、GP06 の実績（ピーク時 5 分間に投票 5,431 件）と比べ 5 割程度の増加に対応できるようシステムの性能を強化した。

ウ 前日発売機能の開発

電話投票（インターネット投票を含む。）システムにおいて、前日からの電話投票

を実現すべく、前日発売機能の開発を実施し、平成20年3月13日から稼働させた。

(3) 次世代車両情報システムに関する研究

ア トータリゼータシステム融合化に関する研究

競輪場に設置されているV I Sの通報システム及び情報提供システムの機能も含めて競輪場等システムの見直しを行い、コスト削減、機能の拡充、信頼性の向上を目指したトータリゼータシステムの融合化を図るための研究を行った。

イ 動画配信に関する研究

今後の情報通信技術の進歩普及を踏まえ、競輪業界における動画配信の在り方に関する調査研究を実施し、その一部として、動画の検索・表示部分についてプロトタイプ（試作）システムを開発し、関係者に公開した。

4 . システムの運用管理

既存システムに加え、特に平成19年度に新たに稼働したシステムに配慮して車両情報システム（V I S）の運用管理を実施した。

〔資料4〕

(1) 新稼働システムの運用管理

ア 開催管理システム

参加選手管理システムの統合により、あっせん通知等電子メールに対する競技会からの問い合わせに対応した。また、開催管理オンラインヘルプを新設し、V I S N E W S や売場コードの変更など関係者への情報提供を実施した。

イ 競輪情報検索システム（K I S S）

K I S Sからの各種帳票の提供、K I S S認証ID・パスワードの設定・管理を実施した。平成19年11月から平成20年3月末までの間、K I S Sの円滑な利用を図るため専任者を置いた。

ウ 前日発売

平成20年4月からG 以上（後半4レース）で本格的に実施される前日発売について、お客様に周知を図るため、開催施行者、実施競技会及びサイクルテレホン事務センター（C T C）と綿密な連携をとりながら、平成20年3月13日より4場及び第

61回日本選手権競輪準決勝・決勝レースにおける先行発売を実施した。なお、発売時間は前日の18時30分から21時まで、取扱銀行は17行で、サービス利用可能な会員数は約16万人である。

(2) 競技関連業務

全国の競輪場及び関係団体に設置した端末機から、競輪の開催に必要な関連情報を収集・蓄積・管理するとともに、端末機等を介して開催運営に不可欠な情報の提供を行った。

(3) 投票関連業務

ア 特別競輪等の本場・場外間の通報業務

特別競輪等の開催時に通報システムを利用した臨時場外及び独立場外の発売延日数は22,325日、対前年度比113.1%（うち場間場外の発売日数は10,503日・対前年度比104.2%、独立場外の発売日数は11,822日・対前年度比122.4%）であった。

〔資料5〕

イ 電話投票業務

インターネット投票を含む電話投票システムの運用管理を円滑に実施した。音声応答システムについては、GP及びG開催期間中に限り、効率的な投票業務に資するため、電話の回線数を増設する柔難化対応を実施した。

一方、GP07におけるインターネット投票については、システムの性能補強を行ったものの、短時間に予想を上回るアクセスが集中したため、一部のお客様の投票に支障をきたした。

なお、電話投票が可能な者（加入者）数は、平成20年3月末現在で267,397名であった。（平成19年3月末より19,944名増加・対前年度比108.0%）

（うちインターネット投票の加入者数は、142,301名（平成19年3月末より22,534名増加・対前年度比118.8%）、ネットバンク会員数81,398名（平成19年3月末より32,693名増加・対前年度比167.1%）であった。）

〔資料6〕

(4) 情報提供業務

ア 関係団体に対する情報提供

(社)全国競輪施行者協議会、(財)日本自転車振興会及び(財)日本自転車競技会に対して各種の情報提供を行った。

イ 競輪場等に対する情報提供

「情報提供サービスシステム(ゲートウェイシステム)」により競輪場及び場外車券売場に情報提供を行った。

なお、同システムの利用は前年度から8場増加し、63場(競輪場38場・場外車券売場25場)となった。〔資料7〕

ウ 報道機関等に対する情報提供

報道機関向けとして、共同通信社を通して各加盟新聞社に対して出走表、競走結果、売上、入場者等の情報提供を行った。

エ 競輪専門紙に対する情報提供

競輪専門紙17社に対し、出走表、競走結果、出場あっせん選手等に関する情報提供を行った。

オ 競輪専門チャンネルに対する情報提供

各種競技情報を放送可能な映像に変換し、(株)車両スポーツ映像に提供した。

カ 電話投票会員に対する情報提供

電話投票会員に対する開催案内、払戻金については、24時間対応の情報提供サービスを行った。

キ インターネット利用者に対する情報提供

インターネット利用者に対し、「KEIRIN.JP」により出走表、競走結果、出場あっせん選手等に関する情報提供を実施し、特別競輪等開催時にはレース映像、選手の並び情報及び競走展開情報の提供を行った。

(5) ナイター競輪開催対応

平成19年度のナイター競輪は7場で317日開催され、競輪場からの問合せ及び障害発生時に備えた運用体制を敷いた。

(6) システム監視業務

車両情報システムの運用状況を一元的かつ的確に監視した。

(7) システム運用におけるバックアップ業務

次の3つのバックアップシステムを活用し、障害発生時等に迅速かつ的確なバックアップを行った。

ア 中継機本体障害時に票数を送信することができる通報バックアップシステム

イ ネットワーク通信障害時に無線通信を利用したバックアップシステム

ウ 一斉同報システム(テレビ会議、同報FAX)を利用したバックアップシステム

(8) システムの運用・保守・管理

ア 機器及びシステムの保守・管理

VISの運用に万全を期すため「定期保守点検実施要領」に基づきセンター、競輪場等及び関係団体に設置する機器及びシステムの運用保守を行った。

また、PDF(分電盤)が老朽化したため更新した。

イ 運用・保守会議

(ア) 第一保守定例会議

運用保守に関する業務を円滑に遂行するため、運用委託会社及び各メーカーの保守会議を毎月1回開催した。

(イ) 第二保守定例会議

中継機及びトータリゼータ間で発生する諸問題について協議するため、トータリゼータメーカー5社との保守会議を毎月1回開催した。

ウ MTランナーの更新

MTランナー(高速MTデータ伝送装置)は、銀行と電話投票会員の決済・残高データの送受信を行うため使用をしているが、老朽化及びメーカーの製品保証の終了に伴い、後継機への更新を実施した。

(9) 新規場外開設時等のサポート

新たに設置された場外車券売場(4場)、設置形態を変更した場外車券売場(3場)及びリニューアルオープンした場外車券売場(1場)について、システムの導入・接続及び運用管理を支援した。〔資料8〕

(10) 主な障害と対応

ア インターネット投票システム障害

平成19年5月13日にインターネット投票システムの出走表の一部に誤りが発

生したため、午前9時15分から午後0時50分までの間、インターネット投票サービスを停止した。この障害により当日開催の18競輪場に影響を与えた。

原因はハードウェア障害であったが、同様の障害が発生しても午前9時の発売開始が行えるよう、一括起動/停止コマンドの適用など手順を見直した。

イ V I S再構築第2フェーズ稼働後のシステム障害

平成19年10月から平成20年1月にかけて、開催管理(番組)システムにおいて、要求した帳票が出力されない障害が発生した。

原因は、データベース関係のメーカー提供プログラムの誤りで、究明に時間を要したが、平成20年2月に修正プログラムを適用した。

また、平成19年10月に競輪場及び独立場外において、ゲートウェイシステムから提供される出走表に関し、「正しく」表示・印刷できない障害が発生した。原因は、情報提供サーバプログラムの誤りであり、順次修正プログラムを適用した。

5. システム運用の安全確保対策

(1) 講習会の実施

V I S再構築第2フェーズ稼働に伴う開催管理システムの講習会及びK I S Sの操作に関する講習会を実施した。

また、統制業務に新たに携わる新任者を対象とした講習会を実施した。

ア 通報系新任者講習会

イ V I S再構築第2フェーズにかかる講習会(開催管理システム講習会)

ウ V I S再構築第2フェーズにおけるK I S Sシステム講習会(K I S S講習会)

[資料9]

(2) 運用監視システムの整備

障害の予防対策の一環として、システムのログデータの収集、ログの調査に要する時間の大幅な短縮を図るため、ログ解析サーバ(新設)へ毎日自動的に保存する機能、各システム及びログ解析サーバに保存されているログデータを専用端末から随時閲覧できる機能を開発し、運用した。

(3) セキュリティ対策

「個人情報保護法」を遵守するために、個人情報へのアクセス可能な者の限定と管理を徹底した。

また、マシン室に加え本財団2階に「監視カメラ」を設置した。

6 . 財団の運営管理

(1) 職員数の推移

平成20年3月31日現在の職員数は20名であり、平成18年度末と比較して3名減少した。

(2) 規程の制定・改廃

ア 調達契約事務処理要領の一部改正

契約事務の一層の合理化及び透明性を確保するため、「調達契約事務処理要領」を一部改正し、調達の供給者の選定方法の拡大や評価委員会の対象業務を拡大した。

イ 基本財産管理規程の改正

基本財産の運用管理をより安全かつ厳格に行うため、基本財産管理規程の全面的な見直しを行った。

(3) 評価委員会の開催

平成19年7月13日に第1回評価委員会を開催し、前日投票システム等の開発案件について調達供給先の選定について評価を得た。

(4) 職員の研修等

近年の労働関係法改正に伴う労働基準監督署の指導基準等を踏まえた労務研修会を行うとともに、必要な措置を実施した。

{ 資料10 ~ 12 }

資 料 目 次

資料 1	運営委員会及び理事会開催状況一覧表	1
資料 2	運営委員及び役員名簿	3
資料 3	届出状況一覧表	5
資料 4	車両情報システムのネットワーク構成	6
資料 5	通報システム利用による場外実施状況	7
資料 6	電話投票加入者の推移	8
資料 7	情報提供サービスシステム（ゲートウェイシステム）導入状況	9
資料 8	場外車券売場一覧	10
資料 9	講習会実施状況	11
資料10	財団法人車両情報センター組織図	14
資料11	評価委員会開催状況一覧表	16
資料12	職員研修会開催状況一覧表	18

運営委員会開催状況一覧表

回数	開催年月日	場所	議題及び報告事項
第1回	平成19年6月26日	本財団会議室	(議題) (1) 財団法人車両情報センター役員の選任について (2) その他 (報告) (1) 平成18年度事業報告書について (2) 平成18年度収支決算書及び財産目録について
第2回	平成19年11月29日	本財団会議室	(議題) (1) 財団法人車両情報センター理事の選任について (2) その他 (報告) (1) VIS再構築フェーズ2の移行について (2) GP07の電話投票対応について
第3回	平成20年3月14日	本財団会議室	(議題) (1) 平成20年度事業計画書(案)について (2) 平成20年度収支予算書(案)について (3) 財団法人車両情報センター役員の選任について (報告) (1) 資産の管理について (2) 平成19年度収支予算書の変更について (3) 車両情報システム再構築フェーズ2の稼働について (4) 制度改正対応について (5) 電話投票前日発売の開始及びKEIRIN.JPの改善について

理事会開催状況一覧表

回数	開催年月日	場所	議題及び報告事項
第1回	平成19年5月25日	本財団会議室	(議題) (1)平成18年度事業報告書(案)について (2)平成18年度収支決算書及び財産目録(案)について (3)平成19年度自転車等機械工業振興事業に関する補助金交付申請について
第2回	平成19年6月26日	本財団会議室	(議題) (1)理事長の互選について (2)その他
第3回	平成19年9月27日	本財団会議室	(議題) (1)平成20年度自転車等機械工業振興事業に関する補助金交付要望(案)について (2)事務局長の委嘱に関する同意について (報告) (1)VIS再構築フェーズ2移行について (2)動画配信プロトタイプについて (3)平成19年度車券売上状況について
第4回	平成20年3月14日	本財団会議室	(議題) (1)資産の管理について (2)平成19年度収支予算書の変更について (3)平成20年度事業計画書(案)について (4)平成20年度収支予算書(案)について (5)運営委員の委嘱に関する同意について (6)基本財産管理規程の変更について (報告) (1)車両情報システム再構築フェーズ2の稼働について (2)制度改正対応について (3)電話投票前日発売の開始及びKEIRIN.JPの改善について

運営委員及び役員名簿

(平成19年度)

1. 運営委員

平成20年3月31日現在

氏 名	備 考
阿 部 輝 彦	帝京大学文学部 教授
太 田 健一郎	日本情報通信コンサルティング株式会社 執行役員
上 條 史 彦	元東海大学情報処理研究教育施設 教授
児 玉 幸 治	財団法人機械システム振興協会 会長
小 林 盾 夫	財団法人日本自転車競技会 会長
坂 内 正 夫	国立情報学研究所 所長
下 重 暁 子	財団法人日本自転車振興会 会長
中 村 一 巖	社団法人全国競輪施行者協議会 理事長
山 田 紘 祥	文教大学国際学部 教授

(敬称略:五十音順)

任期:平成20年10月31日迄

2. 役員

平成20年3月31日現在

役 職	氏 名	備 考
理事長	阿部 毅一郎	財団法人日本自転車普及協会 会長
専務理事	上 金 孝 平	財団法人車両情報センター
常務理事	和 田 輝 彦	財団法人車両情報センター
理 事	平 柳 豊	財団法人日本自転車振興会 理事
理 事	赤 間 三 郎	社団法人全国競輪施行者協議会 常務理事
理 事	森 一 起	財団法人日本自転車競技会 理事
理 事	紙 谷 和 夫	産業能率大学経営情報学部 非常勤講師
理 事	松 吉 慶 一	財団法人車両情報センター
理 事	鈴 木 茂 樹	財団法人日本情報処理開発協会 常務理事
理 事	藤 澤 一 就	財団法人日本棋院 常務理事
監 事	中 村 宗 人	財団法人車両情報センター
監 事	吹 譯 正 憲	財団法人車両情報センター

(敬称略)

任期:平成21年3月31日

(注1) 小川 邦夫氏 :平成19年6月30日付退任
阿部毅一郎氏 :平成19年7月1日付就任

(注2) 市川 清義氏 :平成19年11月30日付退任
平 柳 豊氏 :平成19年12月1日付就任

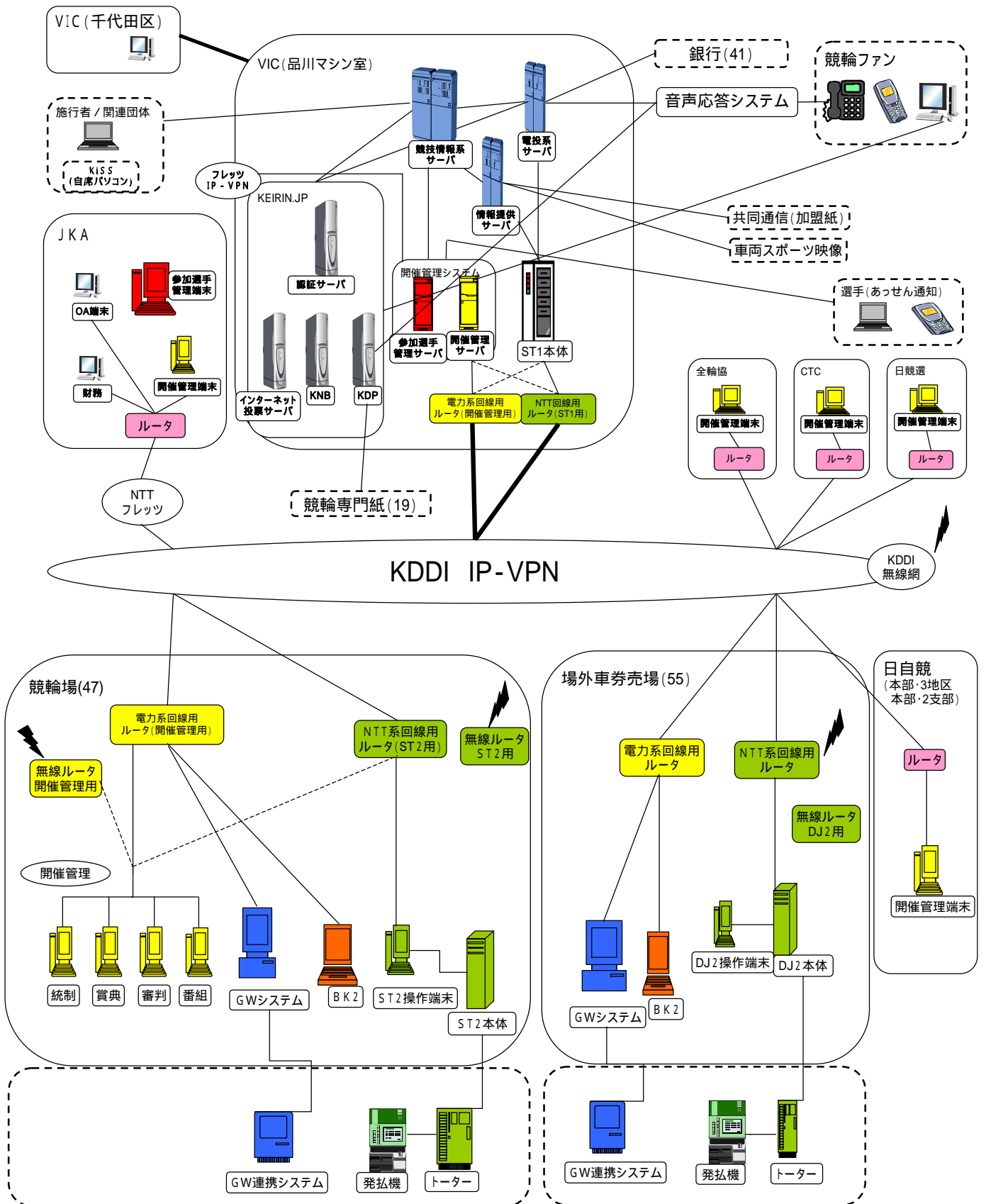
(注3) 板垣 勝男氏 :平成19年11月30日付退任
森 一 起氏 :平成19年12月1日付就任

届出状況一覧表

届出日	届出事項
平成19年5月10日	理事の変更登記(東京法務局)
平成19年5月29日	理事の変更届出(経済産業大臣)
平成19年5月18日	資産総額の変更登記(東京法務局)
平成19年5月29日	平成19年度事業計画書及び収支予算書提出(経済産業大臣)
平成19年6月19日	平成18年度事業報告書並びに収支決算書及び財産目録等提出(経済産業大臣)
平成19年7月13日	理事の変更登記(東京法務局)
平成19年8月9日	理事の変更届出(経済産業大臣)
平成20年1月10日	理事の変更登記(東京法務局)
平成20年2月5日	理事の変更届出(経済産業大臣)
平成20年3月31日	平成19年度収支予算書(変更後)提出(経済産業大臣)

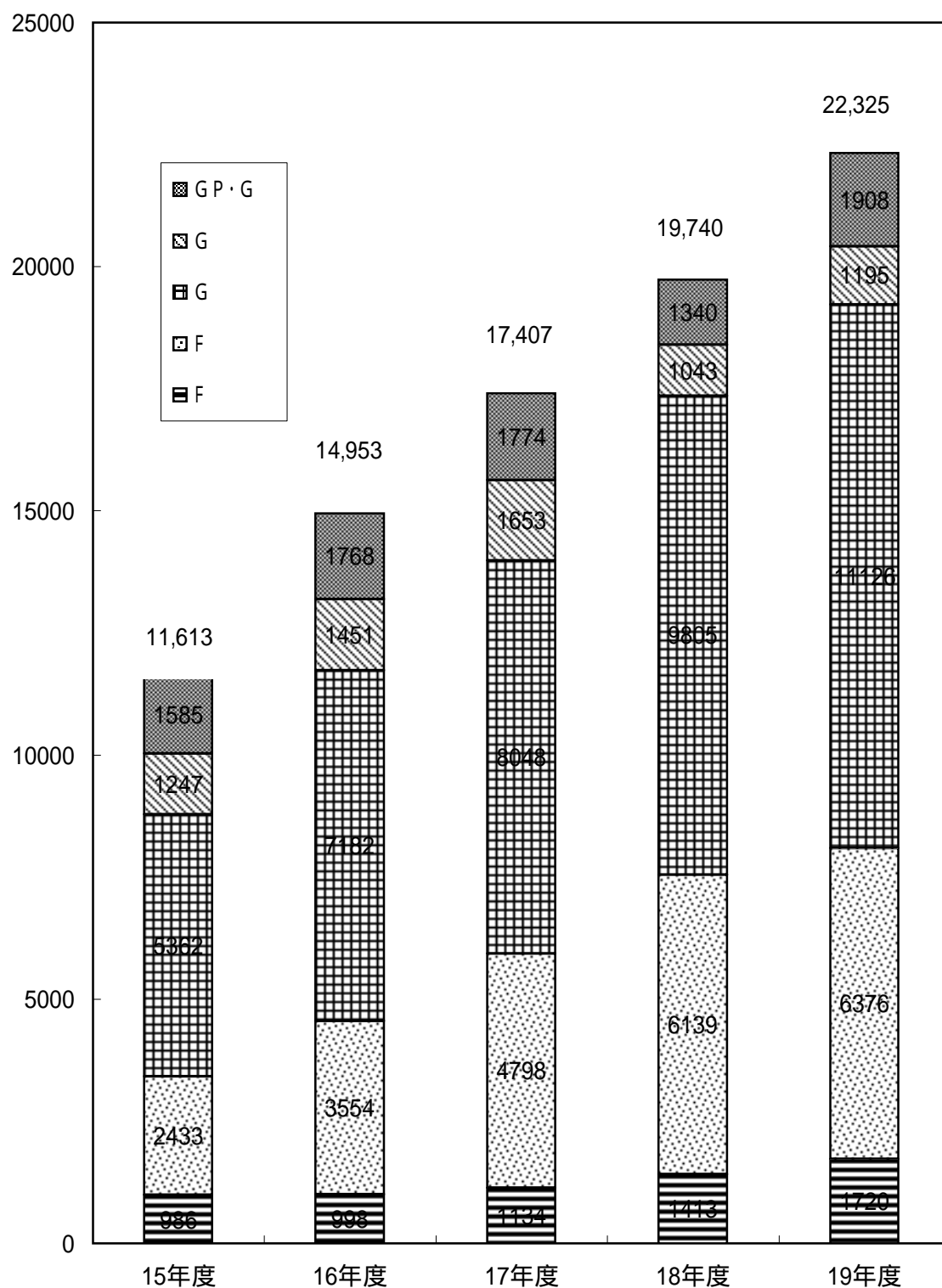
車両情報システムのネットワーク構成

平成20年3月31日現在

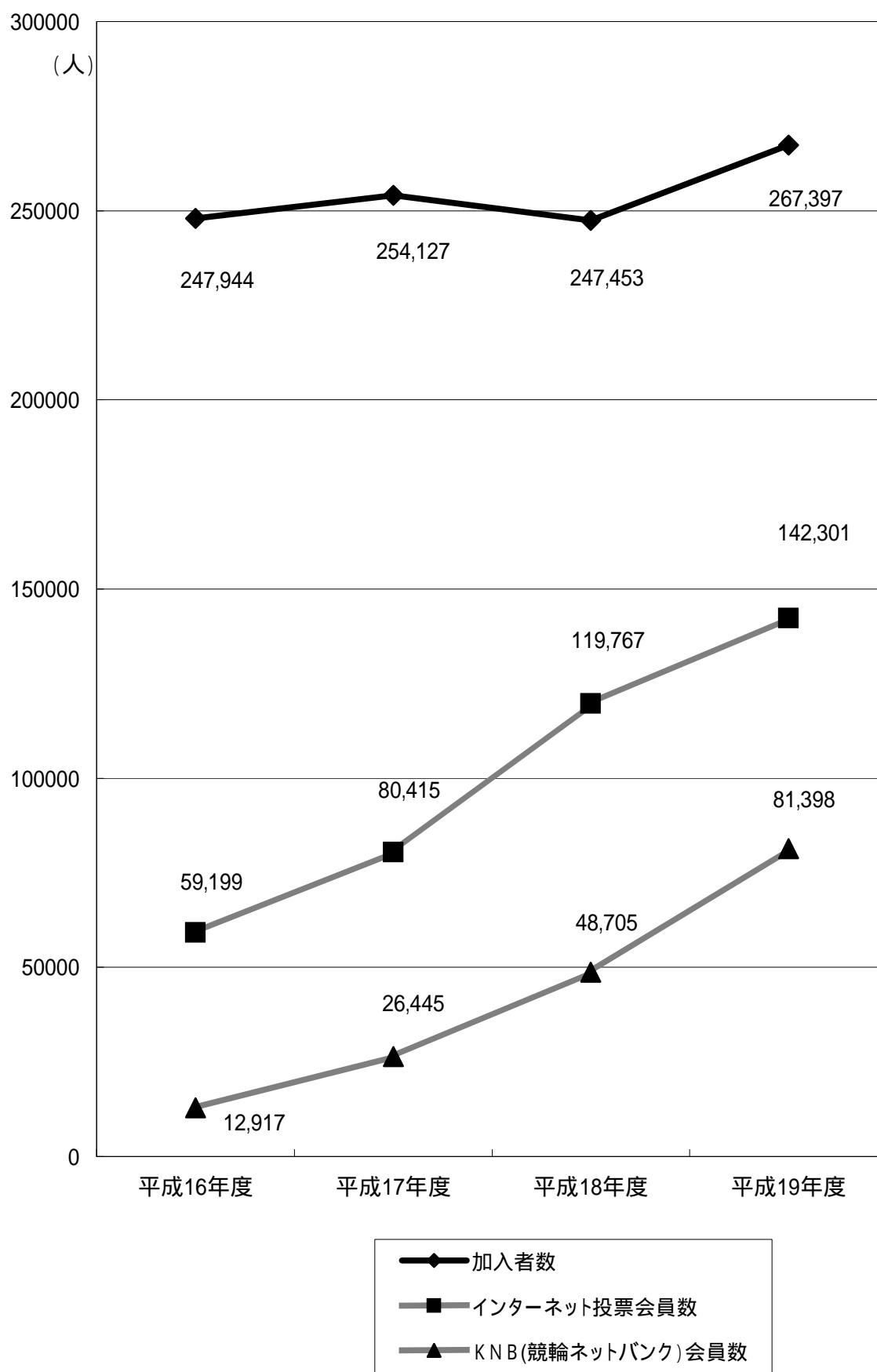


通報システム利用による場外実施状況

(延日数)



電話投票会員数の推移



情報提供サービスシステム（ゲートウェイシステム）導入状況

2008年3月31日現在

NO	競輪場名	備考	NO	場外車券売場名	備考
1	青森		39	サテライト中越	新規導入 1、2 式 3
2	いわき平		40	サテライト水戸	新規導入 1、2 式 3
3	前橋		41	ラ・ピスタ新橋	2 式 3
4	取手	新規導入 1	42	サテライト山陽	新規導入 1
5	宇都宮		43	サテライト石鳥谷	
6	大宮	2	44	サテライト鴨川	
7	京王閣		45	サテライトこまつ	
8	松戸		46	サテライト宮崎	
9	千葉		47	サテライト双葉	新規導入 1
10	花月園		48	サテライトしおさい鹿島	
11	川崎	2 式 3	49	サテライト大和	
12	平塚		50	サテライトみぞべ	
13	小田原		51	サテライト石狩	
14	伊東		52	サテライト会津	
15	静岡		53	サテライト横浜	2 式 3
16	一宮		54	サテライト笠岡	
17	名古屋		55	サテライト朝日	
18	岐阜		56	サテライト新潟	
19	大垣		57	サテライト阪神	2 式 3
20	豊橋		58	サテライト福島	
21	富山		59	サテライトあだたら	
22	松阪		60	サテライト西予	
23	四日市		61	サテライト大阪	2 式 3
24	福井		62	サテライト北九州	新規導入 1
25	奈良		63	サテライト阿久根	新規導入 1
26	和歌山				
27	岸和田				
28	玉野				
29	防府				
30	高松	新規導入 1			
31	高知				
32	松山				
33	小倉				
34	久留米				
35	武雄				
36	佐世保				
37	別府				
38	熊本				

1：新規導入は、平成19年度中に導入された場を示す。

2：西武園競輪場との兼用

3：2セット導入場を示す。

場外車券売場一覧

平成20年3月31日現在

都道府県名	場外車券売場名	備考	都道府県名	場外車券売場名	備考
北海道	松風町SC	専用場外	三重県	川越場外	専用場外
	サテライト石狩	独立場外	大阪府	サテライト大阪	独立場外
	サテライト札幌	専用場外	兵庫県	サテライト阪神	独立場外
青森県	藤崎場外	専用場外	島根県	サテライト山陰	専用場外
	前売りSC	専用場外	岡山県	サテライト津山	専用場外(変更)
	サテライト六戸	専用場外		サテライト笠岡	独立場外
岩手県	サテライト石鳥谷	独立場外	広島県	サテライト山陽	独立場外
宮城県	サテライト大和	独立場外	山口県	駅前SC	専用場外
	サテライト宮城	専用場外(新設)	香川県	国道前売SC	専用場外
秋田県	サテライト六郷	専用場外(変更)	徳島県	江田SC	専用場外
	サテライト男鹿	独立場外		サテライト鴨島	専用場外
山形県	サテライト朝日	独立場外	高知県	サテライト南国	独立場外
福島県	平場外	専用場外		サテライト安田	独立場外
	郡山場外	専用場外	愛媛県	サテライトこまつ	独立場外
	サテライト会津	独立場外		サテライト西予	独立場外
	サテライト福島	独立場外	福岡県	ハイビジョンシアター門司	専用場外
	サテライトかしま	専用場外		サテライト久留米	専用場外
	サテライトあだたら	独立場外		サテライト北九州	独立場外(変更)
茨城県	サテライト水戸	独立場外(リニューアル)	佐賀県	サテライト武雄	専用場外
	サテライトしおさい鹿島	独立場外	長崎県	サテライト長崎	専用場外
群馬県	ウインドーム館林(館林場外)	専用場外	大分県	サテライト宇佐	専用場外
	ラ・ピスタ新橋	独立場外	宮崎県	サテライト宮崎	独立場外
山梨県	サテライト双葉	独立場外		サテライト門川	専用場外(新設)
新潟県	サテライト中越	独立場外	鹿児島県	サテライトみぞべ	独立場外
	サテライト妙高	専用場外		鹿児島天文館サービスセンター	専用場外
	サテライト新潟	独立場外		サテライトきもつき	専用場外(新設)
千葉県	サテライト鴨川	独立場外		サテライト阿久根	独立場外(新設)
神奈川県	サテライト横浜	独立場外			

(注) 独立場外(場外にDJ2を設置しVICと接続): 28場

(平成19年度中に新設された場外1場、リニューアル1場、専用場外からの変更1場)

専用場外(競輪場と専用線で接続): 27場

(平成19年度中に新設された場外3場、独立場外からの変更2場)

平成 1 9 年度通報系新任者講習会 実施状況

実施目的	各競輪場および独立場外の統制室において業務に携わる新任者に対し、VISの概要や端末操作に関する説明を実施することにより、VISに関する理解を深めてもらい円滑な業務運営および障害発生時等の的確な運用対処に資する。	
講習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. VISネットワークと機器 2. VIS投票関連業務の流れ 3. 通報系システムの業務概要 4. 競技情報系端末システムの業務概要 5. 一斉同報システムの業務概要 6. 異常開催処理の概要 7. 質疑応答 	
実施日時	第 1 回目	平成 1 9 年 5 月 1 6 日 (水) 1 0 : 3 0 ~ 1 6 : 3 0
	第 2 回目	平成 1 9 年 5 月 2 8 日 (月) 1 0 : 3 0 ~ 1 6 : 3 0
場 所	(財)車両情報センター 第一・第二会議室	
対 象 者	各競輪場統制室担当者・独立場外統制室担当者・投票業務を委託されている自転車競技会職員・投票業務を委託されているトータ保守員(原則1年未満の者)	
参 加 者	第 1 回目	各施行者、競技会、独立場外担当者 (計 3 6 名)
	第 2 回目	各施行者、競技会、全輪協、独立場外担当者 (計 2 6 名)

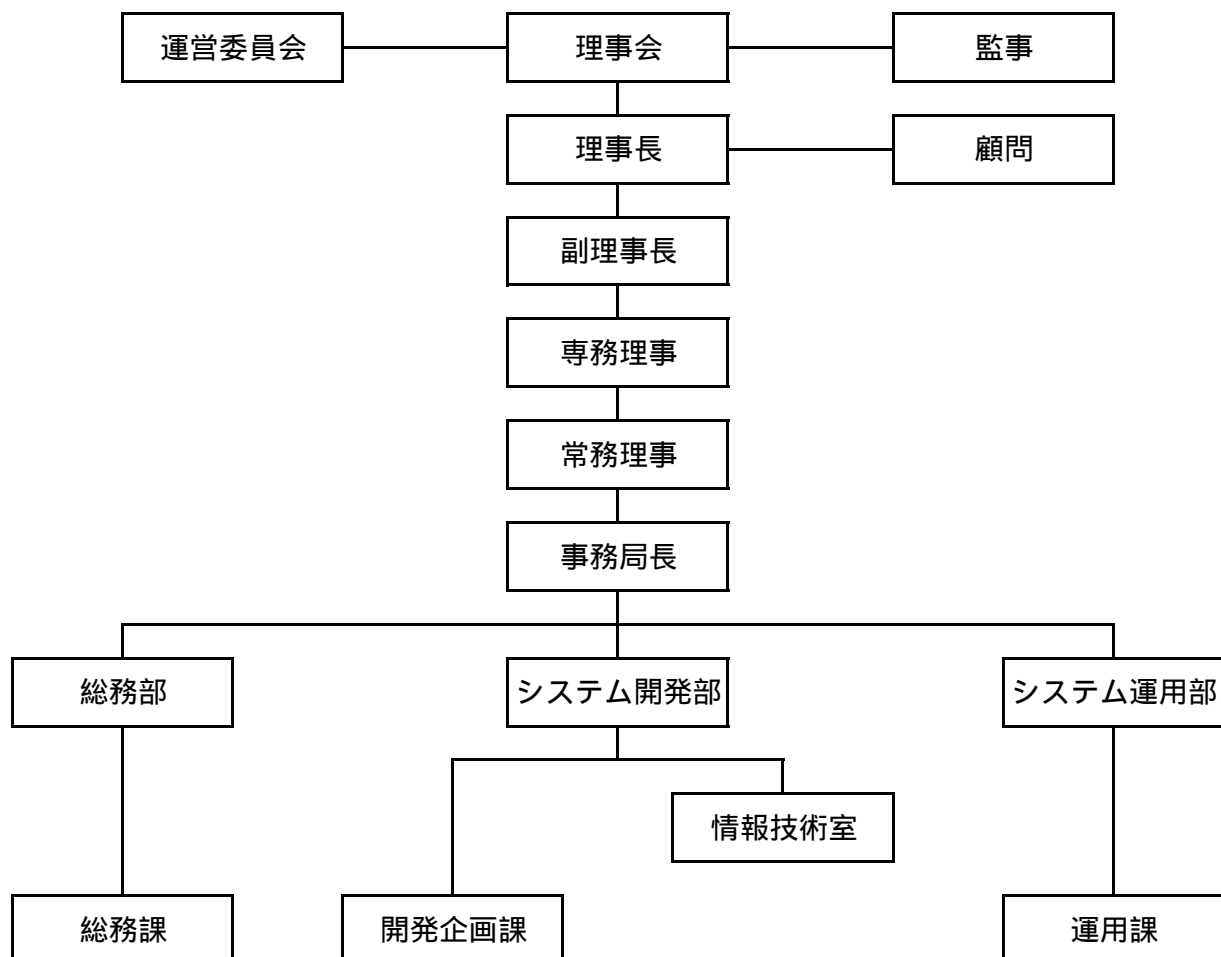
**平成19年度「V I S再構築フェーズ2にかか
る講習会（開催管理システム講習会）」
実施状況**

実施目的	各競輪場および独立場外の統制室執務担当者及び競輪場開催管理システム利用者に対し、新システムの概要や操作に関する説明を実施することにより、新システムに関する理解を深め、円滑な業務運営に資する。	
講習内容	1. 入力・検索業務での変更点（審判・番組） 2. あっせん通知書・参加通知書のメール化 3. 帳票の一元管理と提供 4. 質疑応答	
実施日時	施行者向け 第1回目	平成19年8月29日（水）11:00～16:30
	第2回目	平成19年9月5日（水）11:00～16:30
	競技会向け 第1回目	平成19年8月27日（月）11:00～16:30
	第2回目	平成19年9月13日（木）11:00～16:30
場 所	主婦会館プラザエル（四ツ谷）	
対 象 者	競輪場統制室担当者・競輪場開催管理システム利用者、関係諸団体担当者	
参 加 者	施行者向け 第1回目	各施行者、全輪協、日自振、CTC （計51名）
	第2回目	各施行者、全輪協、日自振、CTC （計52名）
	競技会向け 第1回目	各競技会、自全協 （計30名）
	第2回目	各競技会、自全協 （計60名）

**平成19年度「V I S再構築フェーズ2におけるKISSシステム講習会(KISSシステム講習会)」
実施状況**

実施目的	KISSシステム利用者に対し、新システムの概要や操作に関する説明を実施することにより、新システムに関する理解を深め、円滑な業務運営に資する。	
講習内容	1. KISS概要説明 2. Interstage Navigator概要説明 3. 実機操作 4. 質疑応答	
実施日時	第1回目	平成19年9月18日(火) 11:00~16:30
	第2回目	平成19年9月28日(金) 11:00~16:30
場 所	第1回目	関西システムラボラトリ(大阪・京橋)
	第2回目	富士通ソリューションスクエア(蒲田)
対 象 者	施行者・競技会・関係団体統計調査実務担当者	
参 加 者	第1回目	各施行者、競技会、自全協、全輪協、日自振担当者 (計32名)
	第2回目	各施行者、競技会、自全協、全輪協、日自振担当者 (計66名)

財団法人車両情報センター組織図



平成19年度末現在の職員数

(単位:人)

部 門	平成18年度末 現在の職員数	平成19年度末 現在の職員数	備 考
総 務 部	5	4	
システム開発部	9	8	
システム運用部	9	8	
合 計	23	20	

評価委員会開催状況一覧表

回数	開催年月日	場所	議題及び報告事項
第1回	平成19年7月13日	本財団会議室	(議題) (1) 調達の実行者の選定について (2) その他

評価委員会委員名簿

平成19年7月13日現在

役 職	氏 名	備 考
委 員	太 田 健一郎	日本情報通信コンサルティング株式会社 執行役員
委 員	藤 森 聿 子	前 財団法人車両情報センター 理事
委 員	藤 澤 一 就	棋士 財団法人日本棋院 常務理事
委 員	市 川 清 義	日本自転車振興会 理事
委 員	笹 部 俊 雄	日本自転車振興会 企画事業推進部長
委 員	赤 間 三 郎	社団法人全国競輪施行者協議会 常務理事
委 員	武 晋 一	社団法人全国競輪施行者協議会 業務部長
委 員	板 垣 勝 男	自転車競技会全国協議会 専務理事
委 員	塚 原 典 裕	自転車競技会全国協議会 業務部長
委 員	上 金 孝 平	財団法人車両情報センター 専務理事
委 員	和 田 輝 彦	財団法人車両情報センター 常務理事
委 員	浅 川 一	財団法人車両情報センター 総務部長
委 員	村 木 昭 彦	財団法人車両情報センター システム開発部長
委 員	池 田 稔	財団法人車両情報センター システム運用部長
委 員	久 野 治 人	財団法人車両情報センター 情報技術室長

職員研修会開催状況一覧表

回数	開催年月日	場所	講師	講義内容等
第1回	平成19年12月12日	本財団会議室	弁護士 植松勉氏	(講義内容) 「管理職のための最近の労働事情」 (受講者) 本財団管理職(6名)